

第 1 回 議会運営委員会

令和 5 年 1 月 4 日 (水) 5 階 第 1 委員会室	開 会 1 1 時 0 0 分 閉 会 1 1 時 3 2 分
------------------------------------	------------------------------------

午前11時00分 開会

○委員長（成瀬徳夫君）

では、皆さん。明けましておめでとうございます。去年一年間、お世話になりました。今年もよろしくお願ひします。

年が明けまして、うさぎ年ということで、今年は跳ねるといふ言葉で通用するといふこととございませうけれども、社会全般も跳ねた形で景気も良くなるといふかなと私自身は思っております。

議会としても跳ねた形で、前へ前へと進める方法をやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

では、ただ今から、令和 5 年第 1 回議会運営委員会を開会いたします。

○委員長（成瀬徳夫君）

1、瑞浪市特別職報酬等審議会からの答申についてを議題といたします。

本件について、事務局から説明させます。

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

年始早々お集り、ご苦勞様でございます。

皆様のお手元にレジュメの下に、市長から議長に対しての瑞浪市特別職報酬等審議会からの答申についてという報告がございましたので、これについてご説明をさせていただきます。

昨年、12月2日に瑞浪市特別職報酬等審議会が開催されました。ここでは、瑞浪市の特別職、市長、副市長、教育長の報酬及び議員の皆様様の報酬、それと、政務活動費について、この3点について審議をされたところでございます。

その結果につきましても、下に記載してございますとおり、議長、副議長、それから、議員の皆様様の報酬については据え置きといふような答申となっております。

2番目の議員の皆様様の政務活動費の額については、現状、「1人月額8,000円」を「1人月額1万円」に増額とするといふ答申でございます。ただし、附帯事項として、新型コロナウイルス感染症等の状況を鑑み、増額するかどうかの最終判断は市長に一任するといふように審議会で、附帯事項をつけて答申が出されております。

これをもって、市長としては、じゃあ、議員の皆様様に一度意見を聞きましょうといふことで、今日、急でございますが、この議会運営委員会にて皆様様の政務活動費の額についてをご審議いただき、これは条例の市長提案の議題になりますので、3月議会に上げるとすると、1月中旬までに

は市長が条例案を作って、法令審査会にかけた上で、3月議会の議案として上がってくるという段取りを考えて、本当に今日お忙しい中、申し訳ございません。急に議会運営委員会を開催していただくこととなりました。

つきましては、この審議会から答申があった「月額8,000円」から「月額1万円」へと、これを基本に皆様のご意向を確認した上で、一度、議長から市長に議会としての考え方を報告書にまとめて、1月10日には、15日までには、答申というか、意見書を出したいというふうに考えております。

こちらの横長の他市との比較をとりあえずご覧ください。

審議会のときにもこれを基に審議をされました。ちょっとこちらの説明をさせていただきますと、上下が、これが政務活動費の額です。左右が人口1人当たりの議員の数ということで、瑞浪市の位置で言いますと、点々が大体全国平均というか、人口が少なければ政務活動費もどうしても少なくなりますけど、ということで、これよりちょっと瑞浪市は下におるということで、県内他市と比較しましても、一番下の美濃市、海津市、瑞穂市、大垣市、この4市におきましては、政務活動費自体がないというところでございます。

あと、羽島市が若干、瑞浪市より低いわけですが、それ以外は全部、瑞浪市より多いと。この状況を審議会でもちょっと憂慮されまして、2,000円額を上げると、月1万円、年額12万円ぐらいで議員活動を発展させたいというご意向だったというふうに聞いております。

以上、簡単ですが、事務局からの説明とさせていただきます。

○委員長（成瀬徳夫君）

ご苦労様でした。

ただ今の説明に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、事務局への質疑を終結いたします。

○委員長（成瀬徳夫君）

それでは、ただ今の件につきまして、皆様のご意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょう。意見はありませんか。

1番 館林辰郎君。

○1番（館林辰郎君）

ちょっと事務局に聞きますけど、昨年度の使用状況が分かったら教えて。議会ちゃんねるに載ったとおりですか。

○委員長（成瀬徳夫君）

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

令和3年度。

○1番（館林辰郎君）

令和3年度やね。今年はまだか。

○議会議務局長（梅村修司君）

昨年度の使用状況は、ちょっと私の覚えの中の話になりますが、館林委員はほぼ使われてたと。榛葉議員も、これは会派ごとですので、榛葉議員もおおむね、ほぼ満額に近い形で。あとのところは、コロナ禍ということもあって、若干、返しておられるという状況です。

令和4年につきましては、ちょっとまだ報告書が上がってきてないです。

以上です。

○委員長（成瀬徳夫君）

1番 館林辰郎君。

○1番（館林辰郎君）

僕は、僕やとか公明党は、ほとんど使ったけども、新政みずなみやとかはかなり残ったんやて。百万円単位で残っとれへんですか。

○議長（熊谷隆男君）

新政みずなみじゃなくて、別れとった。別れとるときやもんで、回つとる金もそんなに行つとらへん。

○1番（館林辰郎君）

行つとれへん。

○議長（熊谷隆男君）

うん。5人が最高、4人で50万円しか支給されとらんので。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

3番 加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

うちの会派は、今年は非常に一生懸命活動しまして、大幅な赤字で、1人割り勘が4万円か。4万円徴収して、集めて、何とか帳じりが合うというふうです。やっぱり増やしてもらえるといたらありがたいことだし、そういうことで会派活動で頑張れるというふうには思います。

以上です。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

まあ、上げていただける前から課題があったと思うけども、上げていただけるときに上げていただいて、しっかり妥当に回していければいいかなというふうには思います。

○委員長（成瀬徳夫君）

2番 樋田翔太君。

○2番（樋田翔太君）

県内の平均額等を見たところ、人口的にももう少しアップはあってもいいのかなというふうに思います。

まあ、附帯事項はありますけども、コロナ禍で視察等なかなか、人数が多いところは特に会派の視察は行きにくいところもあったかと思しますので、その状況を見ながら判断が必要かと思います。以上です。

○委員長（成瀬徳夫君）

議長 熊谷隆男君。

○議長（熊谷隆男君）

使いこなせなかったということのご指摘もあるところと、今年度、関係ないかもしれんけど、皆さん、配分図もしっかり作られたわけですけど、選挙の年で、公職選挙法に関するもので言えば、十分注意していただきたいということと、前々から指摘があるように、会派報であるので、個人がPRすることは非常に、余り良くない。

その分は皆さん、自分のところの個人から集めた、議員個々からのお金で賄って、それは政務活動費に入っていないよというものの、配分図で一括しとるものの、こちらの面は政務活動費でこちらは違うなんてことは分からないわけですので、詭弁に過ぎないというところを重く受け止めていただきたいということです。

もう一つは、会派での視察で政務活動費は使えるということでもありますけども、時代もこういう時代になって、今の配布物であっても、本当に会派ごとである程度の回数、それから、もしくは書籍類、もしくは講師を呼んでの勉強会、それから、管内の調査。そういうようなものも、政務活動費を使わなければならないという視察を考えるとということというのは、時代としては余りそぐわなくなってきておるとということも、議会改革の観点からもお願いしたいということをおに言っとくところでありますので、お願いします。

要は、この2,000円を増やすということってというのは、平成13年以降、変更がないので、非常に長く来て、物価の高騰や何やらを考えて、適切であるけども、2,000円で皆さん妥当なのか。もしくは、もっと、1万5,000円でもいいんじゃないと言われるところもあるかもしれんけども、報酬審議会から1万円ということの提示を受けて、受けるという形ですので、そういうことを思うところでは。

これは、瑞浪市の場合は会派支給の政務活動費でありますので、個人支給でないので、会派で、皆さんで今言ったようなことも、いま一度、使い道っていうものをしっかり考えていただきたいという、いいきっかけかなと思いますので、その辺のところも含んでお願いしたいというところであります。お願いします。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

私も、昨年もそうやったけども、ZOOMとかで研修もやったわけですけども、やっぱり今、時代として、今のパソコンでそれぞれインターネットの情報から引っ張ってくると、すぐにいろんなことが出てくるわけやけど、百聞は一見にしかずじゃないけど、やっぱり行くと全然受ける感じってというのは違うんやね。

やっぱりそういったところからすると、ここのところ3年くらいコロナで全然活動ができなかった部分もあるんですけども、現地で見えてくる印象と、この間、豊明市やったかな。行ったけど、随分見たと、データからだけじゃなくて、見た印象というのは、やっぱりすばらしい部分があるんやね。

ああいった部分は、見て、実際に感じてこないと議会に生かせない部分というのがあるだろうと思うので、この際、上げてもいいということで答申を出していただけるなら出していただいて、しっかりと活動に生かしていただく。

できなんだ部分というやつは、当然返さなきゃいけないので、そういったことが大変続くようなことになれば、また見直しというのも当然出てくるだろうと思うけど、この機会ですので、先ほど、議長が言われとる平成13年から全然変わってないという部分があるので、これは前からの懸案の事項でもあったので、この際、上げていただけるときに機会を見て上げていただいて、しっかりと勉強とか、研修に使っていただくような方法を考えていただければいいかなと思います。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

議長 熊谷隆男君。

○議長（熊谷隆男君）

今日、朝は仕事初め式で、職員の皆さんにも話したところで、1期の人は3年間、コロナで十分活動できなかった。最初の1年だけは従来の活動やったけど、3年間、萎縮してしまったということがあって。

まあ、政務活動費を会派の活動費用というイメージで捉えると、もっと、議会運営委員会はみんなで視察へ行ったことの意義が深いのと一緒に、委員会での活動というのが非常に僕が思うには薄れたと。報告書をいただくものも全て勉強会のような話で、委員会の活動として何となく。

これはこの議会運営委員会は各会派の代表者のような形も兼ねたところがあって、あれですけども、もうなかなか伝えることができないのでここで言いたいと思いますけども、やっぱり会派の代表の皆さんにとっては会派の人に、やっぱり議会の役割を果たす指導をも含めてしていただきたいということで。

また今年一年始まって、任期も終わって変わりますので、今こういう話が適切かどうか分かりませんが、私もしゃべる場がないので。やっぱり委員会、議会のほうの活動をもう少し重視していただければ、政務活動費がどうのということやなくて、議会費で行ける話です。

それともう一つは、ここの所、視察が多かったんですけども、他の市で見ると、市の職員が同行

というのが結構あって、一緒にということも今後の検討に入れていただくと、よりこの委員会の活動が充実するんやないかなというようなこともありますので、その辺を含めて、各会派で議論していただきたいというところです。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

1 番 舘林辰郎君。

○1 番（舘林辰郎君）

我々は、公明党も一緒ですけども、個人でもらっとるもんで、それぞれの報酬の中で使うか、政務活動費で使うかということも、その区別がなかなかつけにくいところがあるけども、大体それを区別をして一応、報告書を出しとるけども、本当に大勢の会派から見ると、これはどうやというよな思いがあるんやないかしらんとするわけやね。

どんな活動にも使えるもんですから。そういったところがあるもんで、その辺で個人支給ということについての、ほとんどないわけやら。公明党うちだけ。

○議長（熊谷隆男君）

ほかのところはね。

○1 番（舘林辰郎君）

知らんところないわ、うちのほかでないもんで、その辺の意見を聞かせてもらうと、これはおかしいやないかとか、個人支給はおかしいんやないかということなら出してもらって、この際、審議したほうがいいのかと思うけども、ないですか、それは。

○委員長（成瀬徳夫君）

議長 熊谷隆男君。

○議長（熊谷隆男君）

瑞浪市は会派支給ですけども、個人支給のところは結構、他市の議会の中でもあって、恵那市なんか個人支給やないかしらんと僕は思っとるけども、ただ、それをやると、議会事務局の仕事は何人分かの政務活動の書類を扱うということ。まあ、これ、余りイメージにないかもしれませんけども、そういうことの煩雑さというのがあるという。

会派で出せば、ただ、逆のことを言うと、会派員でも、政務活動費に本当に詳しい人間と、作る人間と、お任せで全てしとるというようなことというのは周知されてないかなという面では良くないかなというふうに思う。

これは変えるときにまた手続きが要るかも分からんけど、金額でもないのだからそんなにあれかも分からんけども、いつでもできる話かもしれませんけども、今後の課題ということで、個人支給でも僕は、同じことである。

何を言いたいかということ、個人支給にすれば、会派で、大きい会派でも1人行けんわというのも別に構わんけど、個人個人が行った人間の政務活動費でやればいいやつを、今は会派で支給だと、1人行かんということ、それがサービスのよな形になるわけね。

そうすると、全員ということ・・・活動が萎縮すると。まあ、行けない人があっても行けるという意味合いで言えば、個人支給ということもあるかなというふうに思います。

もう一つ、本当にさっきの話に続くところですけども、政務活動費の残額っていうのは、なかなか議会ちゃんねるで示さん限り、市民の皆さんに分かりませんが、議会費の縮小で、議会費が残すということは、やっぱりそれはそれで表に、決算に出てくる話で、思えば、議会活動をむしろ縮小するというこの意味で言えば、さっき言ったみたいに、委員会活動であるとか、委員会での勉強、議会全体としての勉強というのを、本当にもうちょっと考えていただきたい。

なかなか議会費の中で流用ということは難しいので、やっぱり使えるところで使っていただくということを、事務局長に聞いたほうがいいかも分かりませんが、僕はそう思う。

○委員長（成瀬徳夫君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

個人支給と会派支給というのは、もうちょっと前にそういうことやったと思うけど、その当時はもう結論としては、やっぱり会派で支給しましょうという結論が出とるので、その中でもかつ大きな、3つにそれぞれ分かれたものであれやけど、会派の中でも個人的に行きたいという部分についてはそれぞれ認めて、うちの場合もそうやけど、全員でやる部分と、個人的に勉強したい部分については、そこも会派の中で行ってもいいよという承諾というか、皆さんの承認の上で、会派から出すことにしています。

個人は個人として行きたい部分がどうしてもあれば、その中で対応するというやり方をしていますので、十分、今後も含めてやけど、会派に支給するのが適当やないかなと思います。

○委員長（成瀬徳夫君）

1番 館林辰郎君。

○1番（館林辰郎君）

僕の懸念は、いわゆる本やとか、物を買う。そのときにどこに所属するかということについての、一人会派は自由に買えるけども、多数おられる会派はできんというようなことで、会派に入る金というようなことでやられると、それは違うんやないかと思うのね。

会派の会計と、それから、研修のために使う金とは全く別なので、そこが違う。きちんと分けないかんけど、そういう個人に支給されると、その分け方が疑って見られるということが多いんやて。そういうふうに思うもんで。

全く、僕なんか一番いい例やと思うけども、自分の好きな本を買えばいいもんで、買っちゃうわけやね。政策的なもんならいいけども、それが下積みになっちゃう。

○4番（柴田増三君）

それこそ思え、以前もこういう問題があったんやけど、結局、会派で買ったものであっても個人やないもんで、基本的には議会の中に残しとかなあかん部分があるんじゃないかなと思って。

その今のパソコンを買ったにしろ、それは個人に帰属するものやないの、あくまで会派で買っ

たものであっても、消耗品以外のものについては議会に所属するものという形で残していったという部分があると思いますので、今までも。そういった対応をすればいいのかなと。

以前、デジタルカメラがはやった頃、デジタルカメラを買われた会派があったけども、それは個人の会派の方やったけども、それも結果的にはその個人の方が持っていっちゃわれたけども、これは実際は議会に残す、所属するものという感覚で、その備品、消耗品以外のものについては、やっぱり残すものだと思ってますけど、いかがですか。

事務局長、これはどうやったかな。

○委員長（成瀬徳夫君）

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

今の柴田委員がおっしゃるとおりで、会派に対して支給した、これ政務活動費として、言い方は悪いですけど、税金から出ているやつなんで、個人に帰属するものではないと。消耗品以外。今おっしゃったとおりです。

○委員長（成瀬徳夫君）

ほか、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、今までの意見をお聞きしまして、政務活動費を増額する件について、皆さん、同意を得られるような意見でございました。支給方法については、今、柴田委員から話がありましたけども、一度会派支給で決めたことがあります。またこれも時代の流れによって変わってくると思いますけども、まず今回は政務活動費の増額についてでございますので、皆様の意見を聞きますと、増額をしていただきたいという声でございますので、これを一度、会派に持ち帰っていただいて、会派ごとに意見をもう一度集約していただきたいと思います。

そのあと、議会としての意見を市長に提出したいと思っておりますので、議長を通してですけども、年明け早々のお忙しいところですけども、1月10日（火）までに各会派から事務局に、口頭で結構ですので、会派ごとの意見を報告していただきたいと思っております。

そういう形で前へ進みたいと思っておりますけど、よろしく願いいたします。

○1番（館林辰郎君）

1月10日まで。

○議長（熊谷隆男君）

ちょっといいですか。「いいよ、上げてよ」なんていう返答だけはやめてくださいね。今日、事務局長にも言ったところやけど、「4万人を目標でいいよ、切りがいいで」と同じように、「1万円でもいいよ、ここが言っとるで」っていうことやなくて、ある程度、的確な、今、資料も渡しましたし、1万円のところ結構、ほかのところでもあるわけですけども、今の2,000円を上げて、2,000円ぐらいが適切ではないか。せつかく報酬審から活動をしっかりせよということが附帯でもあるわけですので、今後、活動の幅を広げるなり何なりしてほしい。

僕も市長に答申というか、お答えするのに、「みんな喜んで賛成です」なんていう答えは子どもじみて言えないので、会派で皆さんの意見を、もしそういうことであればまとめていただいて、集約していただければありがたいということです。

○委員長（成瀬徳夫君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

時間がないけども、うちの会派でコロナにかかった者がおるので、メールなどで確認しながらやりたいなと思います。

○1番（舘林辰郎君）

いいですか。

○委員長（成瀬徳夫君）

1番 舘林辰郎君。

○1番（舘林辰郎君）

税金に関する分で、僕は去年の報告書を上げながら行つとるもんで、市民のところへ。あれを見ると、余つとるやないかと市民に言われるんやて。使い切つとらんでって。それでなんで上げなんつて、そういう意見が出てくると思うんやね。

足らんということなら、そりゃ、上げよということになるけども、使い切つとらんもんで、令和3年度もそうやし、今年もそうなるおそれがある。そのときに何で上げなんというふうな意見が出てくるんやて。

○委員長（成瀬徳夫君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

うちの会派も、加藤委員も先ほど言ったけども、ほとんど使ってますし、特にこの3年の中で、1年目は別として、コロナの部分を見ないと、外へ出ていくとか、勉強の中での消耗品だけではとても使えるものじゃないので、逆に消耗品ばかり買つとって無駄な部分が出るということがあるので、それで残ったのは仕方ないと思うけども。

それを比較して市民がどうのこうのという部分ではないと思う。

○1番（舘林辰郎君）

委員長。

○委員長（成瀬徳夫君）

1番 舘林辰郎君。

○1番（舘林辰郎君）

それが一番言いやすい。市民としては、金が余つとるのに、何で議員にそんなに金を渡すんやとということを言いやすいんやて、これ。一番言われる理由になる。

そこを見んと、議会は何をやつとったつて言われるんやで。余らかしとるもんで。あれ使い切つ

たらいいけども、余らかしとるもんで、一番言われるよ、そりゃ。明らかに。

○委員長（成瀬徳夫君）

2番 樋田翔太君。

○2番（樋田翔太君）

その辺のことも会派に持ち帰って答申されればいいというふうに思っておりますし、令和元年とか、それ以前の状況を見ますと使い切られてる会派が多かったと思いますので、コロナの特殊な事情を鑑みて、今後の政務活動のあり方を持ち帰って議論されるのがよろしいかと思えます。

○委員長（成瀬徳夫君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

市民から言われるというのは、説明したときに、使わなんだ、使わない、使ったら使ったも含めて、いろいろ言われたことに対しては、責任を持って答えればいいと思います。だから、使っていないのに、それを見てどうのこうの言われるなら言われたところで、しっかりと説明責任を果たして、やっぱり自分でやってきたことを説明すればいいと思う。

○1番（館林辰郎君）

委員長。

○委員長（成瀬徳夫君）

1番 館林辰郎君。

○1番（館林辰郎君）

それができんがや。全く使わん人もおるんやで。一人でも。できんやん。何で、その人ら別に政務活動費使わずに議会活動をやっとるわけやなしに、使わなくてもいい会派ができちゃうと、本当に困るんやって、それ。説明できんわ。特に。

○委員長（成瀬徳夫君）

議長 熊谷隆男君。

○議長（熊谷隆男君）

かつて逆のことを言われた議員が見えて、政務活動費をもう使わないということで、申請もされなかった人も見えるわけです。それで、市民の皆さんの中でも、「どうせおまえら会派で遊びに行くやつに使っとるやら」と思っとる人にとっては、そういう人のほうが正解に思う人もあるし。

市民の皆さんの心を思うと、非常にどちらが判断しがたいところになると思いますが。

もう一つは、今度の議員報酬、議員定数にも関わることでありますが、やっぱり議員を志す人にとっても、今後のことについても、自分らの今の現状ということも大事かもしれませんが、これからの活動の面でも、多少の金額でありますけれども、しっかり活動できますよって提示としては良いんじゃないか。

使う、使わんは、この方針でもありますので、ほかの市並みに使いますよと。今までは自虐的に、どこへ行っても「9万6,000円しかもらっとれへんよ」って行って自慢したような話をしてきました

たけども、これが1万円になれば12万円ということになるということです。

それで、今後の活動で上げておくことは、僕は余り個人的な意見を言っはいかんかもしれんけども、せっかくのご指摘は、むしろ議員もしっかりやってくれよという励みを、励ましを得たところであるかもしれんということと思うと、いいのではないかなというふうに思うところであります。どちらとも言えんですけど、よろしくお願ひします。

○委員長（成瀬徳夫君）

この前、議長と話し合ったんですけど、確かにうれしい話だけじゃなくて、各会派で明確な理由を考えていただいて、事務局へ届けていただくということで、ひとつよろしくお願ひいたします。

○委員長（成瀬徳夫君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

今度、その確認を議会運営委員会を開いて伝えるのか。事務局に言えばいいのか。

○委員長（成瀬徳夫君）

委員長一任でよろしくお願ひします。

○委員長（成瀬徳夫君）

次に、2、その他を議題といたします。

何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（成瀬徳夫君）

別段発言もないようですので、以上をもちまして、令和5年第1回議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦勞様でございました。

午前11時32分 閉会